

## 編集後記

稲谷：地域支援プロジェクトの振り返りができて、ほっとしています。この活動を通して、地域支援を身近に感じ、一方で海外の研究者との繋がりをもてました。また違う形で繋がっていただければ幸いです。

高橋：地域支援プロジェクトを通して幅広い多くの方々や地域と繋がることができました。プロジェクトを支えて来られた方々、ご協力いただいた多くの皆さんに改めて感謝申し上げます。この節目の時期を無事迎えることができ、本当にほっとしています。一息つきまして、また新たな展開の中で地域に向けた活動ができればいいなと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

片平：地域支援プロジェクトを通して、大学の資源を地域社会へ還元することの意味や国内外の臨床心理学に関する最新の知見を学ぶことができました。そして、こうして報告書をお届けすることができてほっとしております。お世話になった関係者の方々、先生方に心よりお礼申し上げます。

永福：発達相談や研修会で発達障害に対する関心の高さを感じました。多くの方が正しい知識を持つことで子どもたちが伸び伸びと生活できる、そんな社会になるために、プロジェクトを通して少しでも力になることができたのが嬉しいです。就学相談会でみせた子どもたちのキラキラ輝く目、自分に合った最適な環境で楽しく学校生活を送り、これからの社会を担っていてもらいたいと切に願います。

